

特集

平成25年度芳賀町重点施策 その1 学校教育の充実 どうして低下、小中学生の体力!!

町では、4つの重点施策を中心に平成25年度の各種事業を行っています。この重点施策とは、学校教育の充実 健康づくりの推進 計画的なまちづくりの推進 防災・消防機能の充実です。

広報はがでは、4回にわたり、重点施策の中で特徴的な取り組みを検証します。今回は、学校教育の充実の中の「体力の向上」です。

明日を担う子どもの育成のため、知・徳・体のバランスのとれた教育を目指し、学力の向上、体力の向上、家庭教育、郷土愛などや校舎や体育館などの施設整備の充実を図っています。

この中で最近気になる小中学生の体力について検証します。平成24年度の新体力テストの結果を見てみましょう。

新体力テストの項目
握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20メートルシャトルラン（往復持久走）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体	
小学校	男子	98.7	92.3	101.0	95.4	97.3	96.7	96.8
	女子	101.5	96.5	103.2	97.3	96.8	101.7	99.7
	平均	100.1	94.2	102.1	96.4	97.1	99.2	98.2
中学校	男子	94.5	95.1	92.3				94.0
	女子	96.1	99.9	96.2				97.3
	平均	95.2	97.2	94.3				95.6

全国平均を100として、町内の3小学校と中学校の数値を表したものの

50メートル走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ

ほとんどの学年、男女で全国平均を下回っています。特に、小学校2年生男子、中学校1年生と3年生の男子は5ポイント以上低い結果になっています。

教育委員会では、新体力テストの結果を受けて、今年2月、この要因を探るべく、保護者、教員にアンケート調査を行いました。アンケートの内容は、子どもたちの体力低下の原因や、運動量が足りない原因を問うなど具体的なものでした。

アンケート結果

質問 「最近、子どもたちの体力は低下していると思いますか」

回答 「当てはまる」「どちらか」として当てはまる「」
保護者79%・教員96%

質問 「体力が低下している要因と考えられるもの」

回答（複数回答）
保護者

「外で遊ぶことが少なくなった」76%

「スクールバスで通う児童が増えた」57%

「スポーツクラブに参加する児童が少なくなった」47%
教員

「外で遊ぶことが少なくなった」87%

「スクールバスで通う児童が増えた」84%

質問 「お子さんの運動量は十分だと思いますか」

回答
保護者

40%が十分・おおむね十分

59%がやや不足・不足（1%は無回答など）
教員

26%が十分・おおむね十分
74%がやや不足・不足

質問 「運動が足りない原因と考えられるもの」

回答（複数回答）
保護者

「ゲームの普及」46%

「犯罪等の増加により外では遊ばせられない」32%

「生活様式が変化した」24%

「親が忙しい」23%
教員

「ゲームの普及」72%

「犯罪等の増加により外では遊ばせられない」46%

「生活様式が変化した」52%

アンケート結果まとめ

79%の保護者、96%の教員が体力低下を実感しています。その要因には、「外で遊べなくなった」「スクールバ

スの利用」が挙げられています。

運動量についても、半数以上の保護者が、教員は74%が、運動量がやや不足気味と回答しています。その要因は、「ゲームの普及」、「犯罪の増加」、「生活様式の変化」などの理由が上位を占めています。

全国的にも子ども体力低下、運動不足傾向が進行している中、新体力テストの結果が全国平均を下回り、顕著な体力低下傾向が保護者や学校で認識されている芳賀町では、今後どのような対策をしていくのか教育委員会に伺いました。

「文部科学省の調査によると、全国の子どもの体力・運動能力は、昭和60年頃から低下傾向が続いており、近年は芳賀町においても同様な傾向を示しています。

このことから、未来の芳賀町を担っていく幼児・児童・生徒たちの体力・運動能力

芳賀町こどもの体力向上推進委員会の概要

推進委員はどんな人？

小中学校長会会長を委員長として、町内の保育園、幼稚園関係者と各学校の体育主任の先生、スポーツ推進委員、宇都宮大学教授などの学識経験者の15人です。

どのような活動をするの？

学識経験者からアドバイスを受け、アンケート結果や新体力テストの結果、各学校・保育園・幼稚園での体力づくりの取り組み状況を分析し、具体的な改善プログラムを検討します。平成26年度から各学校・保育園・幼稚園でプログラムを実践していきます。

まとめ

少子化による小学校の統合が始まって15年、完了してから7年が経過します。各学校の野球やサッカー、バレーボール部員の減少により、大会時の参加チームが減少して大会そのものが開催できない場合もあります。統合当時、町は小学校を統合することで競い合う意識が高まり、スポーツ活動がさらに盛んになると予想していました。

先日行われた小学校陸上競技記録会の資料を見ると、昭和の記録がいまだに破られていません。一方では、中学校の野球部やソフトテニス部のバレーボール部などが県大会で優勝するなど、運動能力に個人差がみられます。

芳賀町の将来を担う子どもたちのために、知・徳・体のバランスのとれた教育ができるよう、今後の対策にご理解とご協力をお願いします。

